

## 「主な取組」検証票

施策展開	5-(4)-ウ	優れた人材を育み地域の発展に寄与する高等教育の推進		
施策	①大学等の教育研究環境の充実及び地域貢献活動の促進			
(施策の小項目)	○教育環境及び共同研究の充実			
主な取組	県立看護大学運営・施設整備	実施計画 記載頁	396	
対応する 主な課題	○少子高齢化、グローバル化などを背景に多様化・複雑化する社会的、時代的要請に的確に対応できる専門的な人材を養成していくためには、県内大学等の独自の理念を掲げた学校運営を尊重しつつ、ニーズに対応した特色ある教育研究を促進する必要がある。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	県立看護大学の円滑な運営を図り、教育及び学術研究等に安全で良好な環境を提供する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	100% 国家試験合格率				→	→	県
	看護大学の運営、必要な施設の整備、教育研究に係る取組						
担当部課	保健医療部 保健医療政策課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成26年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
県立看護大学運営費等	280,320	223,397	高等教育機関として県立看護大学を運営し、沖縄県の保健医療の向上に貢献する、看護師、保健師、助産師及びリーダーを育成した。	県単等
活動指標名			計画値	実績値
県立看護大学看護師国家試験合格率			100%	97.4%
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成26年度取組の効果			
順調	・国家試験対策として、担当教員の研修会への参加や、4年次の学生への特別講座の実施、さらに模擬試験を実施し成績不良者へ個別の指導を実施した。また、年間を通して自己学習のための講義室を開放するなど、環境の整備等を行うとともに、在学生の就業への意識を高めるため、進路相談や就職情報の提供などを行ったことにより、国家試験合格率は97.4%となった。			

#### (2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成27年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
県立看護大学運営費等	283,824	県立看護大学の円滑な運営を図り、教育及び学術研究等に安全で良好な環境を提供する。	県単等

## 様式1(主な取組)

### (3)これまでの改善案の反映状況

・国家試験対策として、担当教員の研修会への参加や、4年次の学生への特別講座の実施、さらに模擬試験を実施し成績不良者へ個別の指導を行い取組の強化を図った。また、年間を通して自己学習のための講義室を開放するなど、環境の整備等を行うとともに、在学生の就業への意識を高めるため、進路相談や就職情報の提供などを行ったことにより、国家試験合格率は97.4%となった。

### (4)成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
県立看護大学卒業生数(累計)	851人 (23年度)	1,142人 (26年度)	1,334人	291人	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
—	—	—	—		—
状況説明	県立看護大学の卒業生数(累計)は、平成23年度の基準値851人から291人増え、1,142人となり看護職員の人材確保が図られた。(平成26年度までの卒業生(累計)内訳は、看護学部1,010人、別科助産132人) このまま推移すると、卒業生(累計)数は平成28年度目標値1,334人を上回る見込みである。				

## 3 取組の検証(Check)

### (1)推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・平成26年度の国家試験合格率は、保健師100%、助産師100%、看護師97.4%であった。  
国家試験は年1回の実施であり、合格の可否が卒業後の進路に影響するため、教員の質の向上や、4年次学生への特別講座の実施、学生の就業意識の向上などの取組が今後も必要である。

### (2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・平成26年度の看護師国家試験の受験者78名に対し、合格者76名となっている。これまでも国家試験模擬試験を実施し、成績不良者に対し個別面談及び指導を行っているが、合格率100%に向けて更に取組みを強化する必要がある。

## 4 取組の改善案(Action)

・引き続き、国家試験担当教員を研修へ派遣することで質の向上を図るとともに、国家試験模擬試験の実施回数を増やし、年間を通して切れ目なく学生の状況を把握し、個別対策を行う。

## 「主な取組」検証票

施策展開	5-(4)-ウ	優れた人材を育み地域の発展に寄与する高等教育の推進		
施策	①大学等の教育研究環境の充実及び地域貢献活動の促進			
(施策の小項目)	○地域貢献活動等の促進			
主な取組	県立看護大学における地域貢献	実施計画 記載頁	397	
対応する 主な課題	○また、大学等の社会貢献が求められる中、大学等が持つインフラや生み出した優れた研究成果等を県民生活の向上やものづくり産業振興に結びつけるなど、高等教育機関と地域等が連携し、地域社会への還元につながる取組みを促進する必要がある。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	県立看護大学における地域貢献として、図書館の学外利用者数の増加を図る。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	4,600人 図書館の学 外利用者数			→	5,500人	→	県
	看護大学の地域貢献						
担当部課	保健医療部 保健医療政策課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成26年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
看護大学施設等整備費	17,530	17,530	沖縄県立看護大学附属図書館の学生等学内利用者への利用サービスの他、入館許可を得た学外からの利用者への図書等資料の閲覧、貸出、参考業務、相互協力等を実施した。	県単等
活動指標名			計画値	実績値
図書館の学外利用者数			5,050人	1,966人
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成26年度取組の効果			
大幅遅れ	学外利用者数は計画値の約39%となり、大幅遅れとなった。 看護関係新刊図書の充実を常時図っているため、県内看護専門学校の教員や県内病院看護関係職員等医療関係者の利用は多いが、県内医療関係者の数は限られており、大幅な学外利用者の増加は見込めない。貸出しは学外者に対し1人2冊・2週間で行っている。なお、学外利用者の車両利用に対応するスペースは敷地内に確保されていない状況にある。			

#### (2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成27年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
看護大学施設等整備費	17,530	学外利用者に対して、本館未所蔵資料の全国からの取り寄せサービスや、パソコンの館内貸出しの便宜を引き続き図り、特に離島の学外者への図書館サービス充実を他の関係施設と連携して取り組んでいく。	県単等

## 様式1(主な取組)

### (3)これまでの改善案の反映状況

これまで医学系雑誌の購入が多かったことから、内容を取捨選択するなど蔵書の内容を見直し、最新の医学系図書の収集に努めているが、予算にも限りがあることから十分な対応ができていない。

### (4)成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
県立看護大学図書館 学外利用者への貸出冊数 (累計)	5,190冊 (24年)	4,961冊 (25年)	3,947冊 (26年)	↘	—
状況説明	利用者数の減少に伴い、貸出数も減少している。 学外者利用については、図書館利用に関する広報活動や蔵書の整備等により施設利用を促し、県内に勤務する看護職者への生涯学習支援の充実を図る。				

## 3 取組の検証(Check)

### (1)推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・医学系図書が古く、蔵書数の整備が十分でないことが、学外利用者の減少に繋がったものと考えられることから、利用者へアンケートを実施し求められている蔵書を整備する等改善する必要がある。

### (2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・図書整備費を確保し、蔵書の整備を進める必要がある。
- ・学外利用者への図書館のサービス提供について、広報を強化する必要がある。

## 4 取組の改善案(Action)

- ・引き続き図書整備費を確保し、利用者のニーズに対応した蔵書の整備を進める。
- ・図書館利用について、特にWeb媒体を活用することにより、看護学生等への広報を強化していく。
- ・図書館利用を促進するように、入館確認事務の簡素化など利便性の改善を図る。